

日中福祉交流コーディネーターが見る

上海福祉の今

日中福祉プランニング代表 王 青



中国上海市出身。大阪市立大学経済学部卒業後、アジア太平洋トレードセンター（ATC）入社。大阪市、朝日新聞、ATCの3社で設立した福祉関係の常設展示場「高齢者総合生活提案館ATCエイジレスセンター」に所属し、広く「福祉」に関わる。2002年からフリー。上海市民政局や上海市障がい者連合会をはじめ、政府機関や民間企業関係者などの幅広い人脈を活かしながら、市場調査・現地視察・人材研修・事業マッチング・取材対応など、両国を結ぶ介護福祉コーディネーターとして活動中。2017年「日中認知症ケア交流プロジェクト」がトヨタ財団国際助成事業に採択。NHKの中国高齢社会特集番組にも制作協力として携わった。

コロナ禍で介護施設が長らく封鎖され、入居者や家族が悲鳴をあげている。

中国は厳しい「ゼロコロナ」政策を実施しているため、経済や日常生活にさまざまな打撃を与えている。そうした中、深刻な問題となっているのが、長らく実施されている介護施設の封鎖だ。

上海市政府は7月1日より、感染リスクの低い地域を対象に、予約制の面会を認める通達を出したが、多くの施設は感染のリスクを回避するため慎重だった。

コロナ感染者が少しでも増加すると、介護施設

面会叶わず、家族から悲痛の声

では真っ先に封鎖を余儀なくされた。そのため、この2年半の間、入居者は外部者とまともな面会ができていない。

先日、上海在住の女性が、母親が入居する施設を訪れる様子が政府系メディアで報道され、多くの共感を呼んだ。4カ月以上も母親と面会できていない女性は、一目でも母親に会おうと、市内の施設を訪ねた。しかし、ロックダウン中に設置された施設入口の鉄柵は設置されたままで、そのすき間から母親の姿を覗くことしかできなかった。

母は車椅子に乗ってす

「やっぱ親を施設に預けてはいけなかった」などの家族の書き込みが多い

「やっぱ親を施設に預けてはいけなかった」などの家族の書き込みが多い

「やっぱ親を施設に預けてはいけなかった」などの家族の書き込みが多い

「やっぱ親を施設に預けてはいけなかった」などの家族の書き込みが多い

「やっぱ親を施設に預けてはいけなかった」などの家族の書き込みが多い



▲一目でも親に会おうとする家族

者や家族だけではない。入居者の生活を支えている介護スタッフは、長い人だと一年以上も住み込みで働いている。彼女・彼らも大切な家族がいるのは同じである。

コロナ禍で介護施設に入居すると、外部者との関わりがなくなり、心が弱り、外出さえも禁止されるため、身体機能も低下してしまう。このよ

導が入る。介護施設は家族や政府の板挟みになり、前例のない課題に直面している。

世間から厳しい目で見られる施設だが、辛い想

打撃が避けられない」と指摘している。

ナ禍による介護業界への

ナ禍による介護業界への

ナ禍による介護業界への